



社会福祉法人

vol.166

2021.12

いのちの電話 東京



「虫を探せ」松元 峻資 (*スペシャルオリンピックス日本・東京)

■電話相談 [24 時間受付中]

受付時間は HP でご確認下さい。

03-3264-4343

■自殺予防 [毎月 10 日はフリーダイヤル]

0120-783-556

(8 時から翌朝 8 時まで。24 時間無料です)

■インターネット相談

<https://www.inochinodenwa-net.jp/>

■東京いのちの電話ホームページ

<https://www.indt.jp/>

東京いのちの電話

検索



50周年を迎えることができたことへの感謝と新たな歩みへの願い

東京いのちの電話 理事長 末松 渉

一人で悩み苦しんでいる心に“寄り添う人”でありたいとの願いをもって、ドイツの宣教師ルツ・ヘットキャンプ女史の呼びかけから始まった「いのちの電話」の相談活動は、50年という大きな節目を迎えることが出来ました。これまで担当を担ってこられた相談員の皆様、土曜医療相談の皆様、小石川センターの関係者の皆様、活動の財政や運営を支えて頂いた皆様、電話での出会いの質向上のために研修を担ってこられた皆様方が、他者を思いやる心のバトンをつなぎ、力を合わせて走り続けてこられた結果の賜物だと感じています。心よりの感謝を申し上げます。

活動を始める前には、「電話で何が出来るか」「いったい何人の人からかかるのだろうか」「日本では無料奉仕なんて考えられない」など、新たな状況に一步踏み出そうとする時やなれ親しんだ環境から離れるときに感じる不安や懸念があったことだろうと思います。現状を維持することも、新たな活動を始める時も、撤退する時も、大きなエネルギーを必要とします。しかし「いのちの電話」の活動が50年続いているという事実思いを馳せる時、「大切なことを大切なこととして行う」という勇気が、人としての生き方に求められているのだということも教わりました。

コロナ感染症の影響を受けた私たちの生活は、同じ場所に身を置き五感を通して関わるということが少なくなり、より孤独感や不安が増してくるだろうと思います。いのちの電話の50年の歩みを通して、他者から感じる“温かな心”が“生きる力や生きる喜び”につながっていることを知りました。また、この温かな心には、地道な努力と“自分や他者に対する謙虚さ”が伴っています。人の心に響く仕事や活動には、それがスポーツや文化、また日常生活のどの分野であっても、共通してこの謙虚さが見受けられます。

「無知の知」「初心忘るべからず」「一期一会」などの言葉は、未熟ながらも真理、真実を求める者に“謙虚であれ”と求めています。いのちの電話は、電話相談活動で培ってきたものを、インターネット相談や地域社会へのコミュニケーションに関する出前講座など、対象を広げて共有していく事業にも取り組んでいます。

一人で悩み苦しんでいる心に“寄り添う人”でありたいという願いが、「いのちの電話」を利用してくださる方々だけでなく、活動の仲間同士に、ボランティアの皆様の家族や職場など、身近な人々との関わりに、沁みわたりますように。

東京いのちの電話 50周年記念式典 式次第

社会福祉法人いのちの電話
50周年記念事業企画委員会

50周年記念テーマ「歩み続けて50年 いつもとなりに これからも」

- 日時：2021年10月2日（土）
午後1時～午後4時 12時30分開場
(休憩)
(プログラムⅡ部)
- 会場：銀座プロッサム
1) 写真で振り返るいのちの電話「これまでの50年」、
「これからの50年」に関する考察
50周年記念事業企画委員会
- 式典プログラム
(プログラムⅠ部)
1) 開会の辞
社会福祉法人いのちの電話理事長 末松 渉
2) 祝辞
・東京都知事 小池百合子 様 (ビデオレター)
・玉の肌石鹸株式会社代表取締役会長 三木晴雄 様
・一般社団法人日本いのちの電話連盟副理事長
社会福祉法人関西いのちの電話理事長 李 清一 様
3) 来賓ご紹介
4) 50周年記念に向けてのメッセージ (ビデオ・代読)
・ルツ・ヘットキャンプ 様
(社会福祉法人いのちの電話 創設者)
・斉藤友紀雄 様
(社会福祉法人いのちの電話 元理事、元事務局長)
・シスター林 義子 様
(社会福祉法人いのちの電話 元理事、元ディレクター)
・吉永小百合 様 (俳優)



●写真で振り返るいのちの電話「これまでの50年」より

いのちの電話 50 周年誌に寄せて（思いもかけなかった寄稿）より

ルツ・ヘットカンブ

青山の紀伊國屋でちょっと買い物をし、スーパーマーケットを通り過ぎようとした時のことです。外国人の私に知らない女の人が声をかけてきました。「すみませんが、ちょっとお時間をいただけないでしょうか？私の結婚生活がもうだめになりそうなのです。そのことでお話ができる人が誰もいないのです。」

私もそんな時間はなかったのですが、とりあえず駐車場に止めてある私の車の座席に座ってもらい、ながながお話をいたしました。今でもその方の悲しそうな顔を思い出します。そしてその時、私の感じたことは、この大きな街に国籍を問わず、数え切れないほどの人が一人では耐えきれないような苦しみや重荷を心に抱えて生きておられるのではないかということでした。こんなにもたくさんの方がいても、その悩みについて話せる相手をただの一人も見つけることができないのです。こうした状況は、東京だけではなくありません。世界の大都市では、こうした苦しみの叫びに何とか応えようとしてきた人たちがいたのです。ロンドンでは、そのために電話を使おうというアイデアが生まれました。孤独な人も、それによって対話できるようになるのです。



その利点はこうです。

・急ぎ足でだれもが通り過ぎていくこの忙しい世界で、静かに心の思いを打ち明けられるところがあれば、それは素晴らしいオアシスになる。

・その際、だれも自分の名前を名のる必要がないので、体面を損なう心配もない。

・また、お役所や心理相談機関のように決まった相談時間に縛られることもない。などなど

ところで、私はこんな電話相談のアイデアをもって日本に行ったのではありませんでした。日本基督教団からの要請で、東京と周辺の街にいる売春や根無草のような生活をしている若い女性たちの救済の仕事のため、ドイツから二人の女性が日本に派遣されることになり、その一人が私でした。

一緒に働いてくださる日本女性の方とさまざまな「盛り場」を定期的に訪ねるようになりましたが、私たちに一体何ができるのかと考えてしまいました。その女性たちを助けるためには、もっとしっかりした救済のネットワークを作らなければならないのです。

教団議長の紹介状を持ってさまざまな教会の婦人たちとコンタクトを取るようになり、そこから集まりが作られていきました。そして私たちは、これから先どのようにしたらよいのかを一緒に考えました。

そこで私がドイツには電話相談というのがあると話ししたら、皆さん、それは素晴らしいと喜んでくださり、すぐにそれを始めましょうという機運になりました。しかし、そのためにはしっかりした準備が必要でした。その時の私たちの仲間といえば、わずか27人の女性たちだけ！資金として持っているお金も、バザーの売上で、約9万円。とても幸先良いスタートを約束するものではありませんでした。

でも、幸いなことにそのための国を超えた助言を得ることもできるようになりました。アメリカやカナダ、ベルギーなどからの協力の申し出や呼びかけ、また、日本のクリスチャンの医師、看護師、社会福祉の団体からの、貴重な援助の申し出など。さらに私たちは、オーストラリアのいのちの電話運動の設立者アラン・ウオーカー博士のシドニーのライフラインの映画の紹介やお話を聞きました。元気づけられた私たちは、日本のライフラインを準備するための組織を作り、その名前を「いのちの電話」としようと決めました。そんな時、ある新聞の新年号に一つの記事が載りました。すると、300人もの方が相談員として協力したいと申し出てくださいました。そのなかのおおぜいの方がこうおっしゃるのです。「私はクリスチャンではありません。でも、この仕事はとても大事だと思います。できれば一緒にやりたいです。」

多くの話し合いが行われました。責任を持って一つ一つの計画を実現できるよう、多くの方たちがそれぞれの賜物や力を発揮してくださいました。

皆さんの協力の仕方もさまざまです。ある人は、相談員となって、実際に電話をとってくださいます。またある人は、この事業の財政を支えるための資金活動のために尽力してくださいます。その、どの役割も仕事も大切でした。こうして2年間の準備ののち、1971年10月1日にいのちの電話はスタートしました。

ごくごく小さな始まりから50年経って、いのちの電話は、こんなにも大きな働きの波になりました。100人どころか何千人もの人たちが今日本でこの働きを支えてくださっています。東北大震災の津波の時にも、それは変わりませんでした。コロナ災禍で、相談活動の限界と思われる今でも、活動は続けられています。

50年のさまざまな困難を乗り越え、ここまで来ることのできたいのちの電話の歴史は、まさに奇跡です。困難にもめげず今もいのちの電話の大切なお仕事を担ってくださっているすべての皆さんが、愛と勇気を持ち続けてくださいますようお願いし、お祈りしております。

(50周年記念誌に寄せられたルツ・ヘットカンブさんの原稿から、一部抜粋という形で掲載させていただきました。文章についてはご本人のご了承をいただいています。)

ご支援ありがとうございます。

2021年4月1日より9月30日までに、下記の皆さまから温かいご支援をいただきました。
一同深く感謝申し上げます、ご報告いたします。(敬称略)

企業・団体、宗教法人・教会、学校 8,174,776円

一般財団法人東京都弘済会	100,000	公益財団法人原田積善会	300,000
一般財団法人日本メイスン財団	1,000,000	公益財団法人毎日新聞東京社会事業団	300,000
一般社団法人霞会館	1,000,000	公益信託オラクル有志の会ボランティア基金	680,000
一般社団法人日本財団	2,500,000	合同会社 Selfree	100,000
いのち奏でるコンサート 園城 三花	40,000	大同特殊鋼株式会社	7,000
株式会社アーティー	300,000	東京Iゾンタクラブ	200,000
株式会社博報堂	50,000	日産労連リック局	100,000
株式会社マーシー	50,000	富士通株式会社	40,000
株式会社マエダ	50,000	UAゼンセン	500,000
公益財団法人日本社会福祉弘済会	500,000	ワンスアラウンド株式会社	112,300
イエズス・マリアの聖心会本部友部修道院	10,000	聖ドミニコ宣教修道女会東京修道院	5,000
ウエスト東京ユニオン・チャーチ	22,200	日本キリスト教団荒川教会	2,000
カトリック清瀬教会	3,000	日本基督教団代田教会	10,000
ケベックカリタス修道女会	10,000	日本聖公会東京教区	13,000
サレジオンシスターズ世田谷修道院	5,000	パリ外国宣教会	10,000
宗教法人林海庵	30,000	本浄寺	7,276
聖トマス寮	5,000		
学校法人立教女学院	30,000	東洋英和女学院中高部宗教委員会	30,000
女子聖学院PTA	25,000	明治学院中学校・東村山高校	28,000

ご支援をお願いします

いのちの電話は相談員の無償の奉仕で支えられておりますが、24時間365日電話相談を受け付けるには、研修費・広報費・事務費借室料など年間約3,000万円の運営費が必要です。

その運営費の大部分が、皆さまからのご寄付に支えられています。

ご寄付には個人・法人ともに、税制上の優遇措置がございます。

ご支援をよろしく願いいたします。

○相続財産等のご寄付について

相続または遺贈により財産を取得された方は、当法人にご寄付(相続税の申告期限内)された場合にも優遇措置の対象となります。また、お香典へのお返しからご寄付いただいた事例もございます。

詳しくは事務局にお問い合わせください。

今後とも、社会福祉法人いのちの電話にご理解とご支援を賜りますよう、
こころよりお願い申し上げます。

ご寄付振込先

< 郵便振替 >

00140-3-162972

社会福祉法人 いのちの電話

< 銀行振込 >

三菱UFJ銀行 神保町支店

普通口座 1084827

フク) イノチノデンワ

青木 節子	江野沢 和枝	菊地 俊暁	笹嶋 芳雄	田中 たえ子	服部 洋	水無瀬 隆造
青山 博務	榎本 紀子	菊池 洋子	佐藤 智子	田中 暉通	花塚 一弥	湊 美都子
秋元 満智子	江幡 清彦	菊池 汎子	左藤 浩子	田中 牧子	馬場 元毅	宮崎 秀雄
明峯 明子	追分 けい子	北川 暁子	佐藤 牧子	谷村 春樹	馬場 美康・智子	宮谷 仁太郎
浅井 清	大枝 東樹	北島 柳子	佐藤 惟	田和 恭介	土生 恭子	向山 康子
朝居 健	大川 佳子	北野 寛子	佐山 茂昭	千葉 和子	早川 治子	村井 あつ子
朝倉 陽子	大川 昌巳・貴子	北村 幸栄	宍戸 信次郎	塚崎 誠一・恭子	林 英明・なおみ	村上 聖子
浅野 千恵子	扇谷 正紀	木村 桂子	志田 俊郎	塚本 迪子	林 義子	村山 七郎
浅見 正博	大久保 節子	木村 文治	篠崎 恵美	津田 菊枝	林 和可子	持田 和正
味岡 奈保子	大歳 宇佐美	木村 勝	篠崎 八恵子	土田 春雄	原 研治	本木下 道子
芦川 弘道	大栗 ますみ	木村 裕子	篠原 富喜子	鶴田 典子	原科 孝雄	森 茂
安達 良元	大越 俊男	木山 昭栄	四之宮 早苗	手塚 久枝	原田 玲子	森田 重敏
熱海 道代	大島 力	吉良 爽	柴田 文夫	寺嶋 知子	半田 節子	森本 恵美
阿部 拓	大竹 信子	金谷 暢夫	清水 和良	寺本 明男	東野 文恵	八木 祥子
新井 英明	大谷 幸代	久下 勝通・千代	清水 かほる	土井 恵子	樋口 浩子	安田 展久
荒川 明子	大多和 豊・喜美子	草柳 吏津子	清水 迪子	ドウトレイ シリル	平岩 町子	安田 はるみ
アラ ミユキ	大塚 和夫	工藤 珠規	清水 裕	徳川 信子	平塚 礼子	矢田部 千佳子
有馬 恵子	大鍋 みさお	國井 美子	東海林 敦子	徳富 悌子	平林 晴子	柳井 良子
有本 キヨ子	大野 拓也	梶田 結子	城口 博隆	徳永 明子	深沢 亮子	柳沢 信一郎
安藤 喜代美	大生 仁雄	熊谷 和重	進藤 良江	豊嶋 良一	福井 田鶴子	柳下 弘
飯島 延浩	大谷 香織	熊倉 ハルミ	末松 渉・正子	豊田 絢子	福島 禎子	矢野 啓子
伊川 英子	岡田 一彌	栗林 定友	菅沼 美智子	富部 直希	福田 貴代子	矢部 恭江
池谷 一郎・清子	岡田 光穂	来島 淳子	菅原 裕子	長井 幸夫・優子	福山 清蔵	山崎 亜矢
石井 和生	岡村 五十男	慶田 直子	杉浦 弘輝	仲 里路	藤谷 秀子	山崎 順子
石井 千賀子	岡村 紀男	小池 多喜子	杉本 英子	長澤 綾子	藤田 睦	山崎 美奈子
石田 市子	岡本 弘	小泉 豊	杉山 克好	長沢 道隆	藤田 禧	山澤 寛子
石田 好子	尾川 公子	小泉 良子	杉山 のり子	中島 潤子	藤光 純一郎	山下 ひろみ
石橋 勇	奥山 章雄	神津 信一	鈴木 敦子	中島 千晶	藤村 清子	山下 三重子
石橋 泰	小田 京子	桑折 啓子	鈴木 浩子	中島 史枝	古田 和子	山田 明子
石原 晶世	小野寺 裕子	小堺 美千代	鈴木 博子	長島 るり子	古屋 千鶴子	山田 妙子
伊藤 英子	小和田 統	小崎 和代	鈴木 幸子	中野 千磨	古屋 英彦	山田 千代子
伊東 尚	傘木 弘之	顧 哲夫	須藤 和子	中林 正子	保坂 はるみ	山本 巖夫
伊藤 誠二	笠原 雅子	小島 香	関口 邦興	仲摩 真途・邦子	星野 恭一	山本 哲司
伊藤 幽香子	梶永 富美枝	小菅 あけみ	関田 眞子	中村 清純	細田 早紀	山本 雅江
稲村 優子	柏原 保久	小菅 敏夫	高嶋 ひさ	仲村 邦子	堀江 弥生	湯川 富士子
犬尾 順子	梶原 茂子	後藤 嘉代	高根 真美	中村 昌子	堀江 利香	横坂 節子
犬塚 靖子	片山 知子	小俣 泰史	高橋 節子	中村 武照・喜子	堀川 成康	吉崎 哲
井上 栄雄	勝俣 恒久・その子	小松 寛之	高橋 ヒロ	中村 稔	堀川 尚武	吉田 君代
猪野 啓子	加藤 泉	小森 晴子	高橋 廣見	中村 喜子	本藤 育子	吉田 千世子
今井 實	加藤 信子	小谷津 孝明	高橋 礼子	仲元 達雄	前田 美代子	吉田 尚英
今村 久美子	門田 文子	小谷津 光子	高林 利夫	長山 眞子	前田 由紀子	米山 幸代
今村 恭子	門野 豊子	小屋松 一子	高柳 晶子	長山 ゆき子	牧志 功子	RUTH HETCAMP
井元 儀明・賀津子	金山 良雄	近藤 淳	高山 和子	生木 ヨシミ	蒔田 ユリ子	若井 永
入川 敦子	金子 佐保子	西海枝 恵子	滝田 英子	成田 久美子	牧原 和美	若野 真弓
岩沙 克次	金子 美恵子	斎藤 和香子	田久保 静雄	成田 喜恵	増岡 久美子	和木 祐一
岩田 淳子	金平 輝子	斎藤 敏	竹内 嘉男	鳴海 直子	増田 三千子	渡瀬 トモ子
上野 高尚	鎌田 一夫	斎藤 美恵子	竹口 きよせ	南部 雅人	松井 倫子	渡辺 純子
植村 春子	上村 肇	斎藤 洋子	竹崎 眞理子	西川 秀夫	松鶴 光子	渡邊 富子
宇佐美 美千代	亀山 康子	斎藤 竜太郎	竹田 和子	西田 宏子	松澤 明子	渡辺 久剛
宇田川 セイ	狩野 都	坂入 操子	武田 勝年	新田 敦子	松下 早苗	渡邊 秀夫
内田 恵子	川上 ひのこ	坂田 美恵子	竹中 スミ子	根橋 剛	松島 倫子	渡部 真美
内山 多美子	川北 かおり	坂本 富美子	竹林 順子	野口 善延	松谷 洋	
梅澤 はる子	川久保 啓一	坂本 美波	田島 三枝子	野田 泰子	松本 真実	
梅原 みちよ	川島 恵美子	桜井 元雄	田島 祥乃	萩原 芳朗	三浦 邦夫	匿名 35 名
浦部 忠久	河野 時子	佐古 一久	多田 文代	萩原 恭子	三上 都夫	
江木 明美	川橋 幸子	佐々木 彰子	多田羅 初子	橋爪 長三	美甘 逸子	
江崎 映子	川村 多津子	佐々木 眞一郎	舘 裕子	長谷川 倫子	三崎 肇・由美子	
江尻 光子	神田 佳和	佐々木 由利子	田中 カツ子	八村 悠紀子	見岳 昭夫	
江田 佐栄	木内 和子	佐々木 庸子	田中 純子	服部 ひろ子	三村 徳子	

その他のご支援

*未使用切手、書き損じはがきなど多数ご寄付いただきました。

*ご芳名の記載もれや誤字などがございましたら、お手数ではございますが事務局までお知らせください。

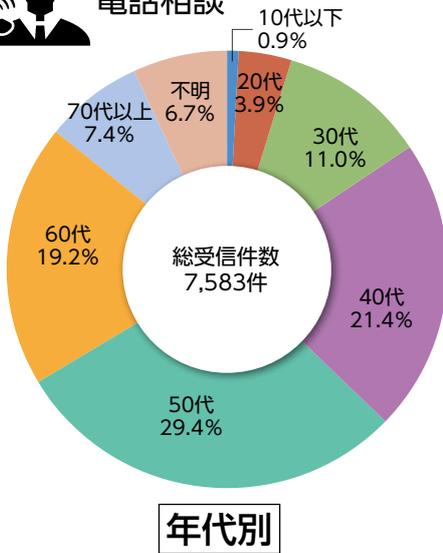
相談内容

2021（令和3）年1月～6月

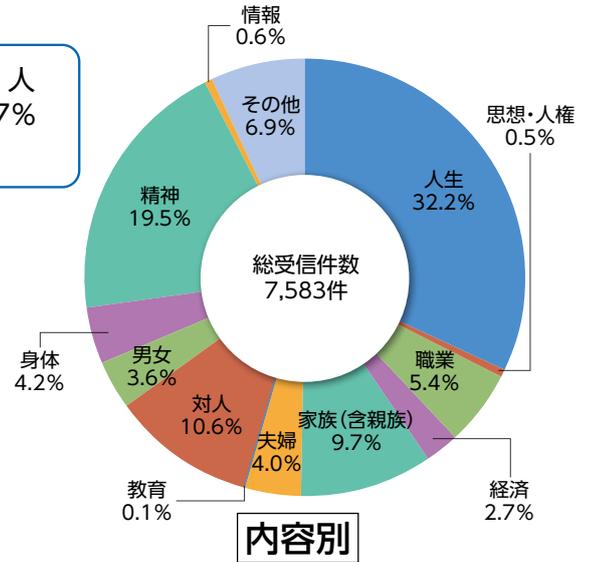
いのちの電話は、電話とインターネットで孤独の中にある人の声を聴き続けています。
電話相談とネット相談では、相談者の年齢層も相談の内容も、異なる傾向がみられます。



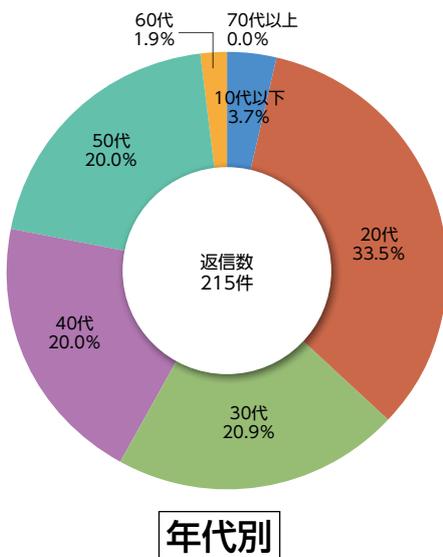
電話相談



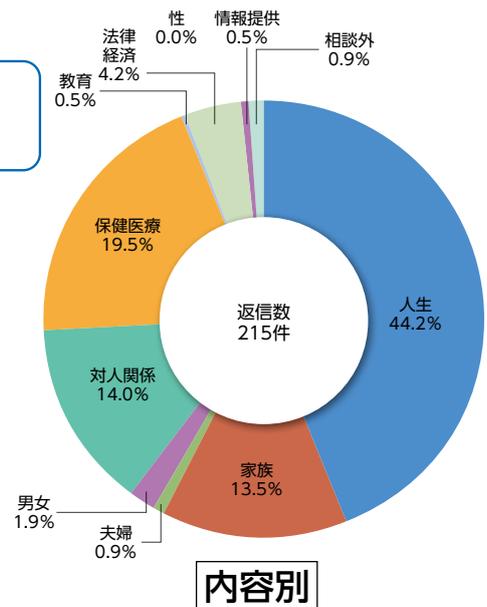
活動相談員 延べ 1,457 人
自殺傾向のある電話 12.7%
平均通話時間 29 分



インターネット相談



活動相談員 延べ 115 人
自殺傾向のある相談 30.7%



『コロナ禍での電話相談から』

「いのちの電話」のボランティアによる電話相談は、開局以来 365 日 24 時間電話を受け続けてきましたが、昨年の緊急事態宣言より、やむなく深夜の電話は、週 4 日（水木金土）体制で、感染予防対策を取りながら相談を受けざるを得ない状況でした。（11 月 10 日より深夜担当を正常化し、365 日 24 時間の相談体制に戻りました）

世の中もウィズコロナの生活が日常になってきました。それにつれて相談内容もコロナによる影響そのものより、コロナ以前からの問題が目立つようになりました。

高度成長期なら働き盛りの 50 代男性から、孤独・精神的病い・老親の介護・就労困難など、一人で複数の問題を抱えてかかってきます。

「介護していた母親が亡くなり半年以上、何のやる気も起きない。仕事もやめた。」「精神疾患があり親の援助で暮らしている。親の死後、今の生活を維持できるか。」「両親はすでに亡く、一人っ子。100 歳近い祖母と障害年金で暮らしている。」など、この時代ならではの傾向でしょうか。

私たち相談員は、お話を聴くことしかできません。大変な電話を受けた後は、無力感に襲われることもあります。そんな時、相談員同士話すことでお互いを支え合い、次の電話に出ることを大切にしています。



相談員の一言



コロナ禍での活動



53期の養成 (CK)

53期の養成研修は、当初の予定の十か月後に終了しました。研修期間が延長されたことで、私自身は悪く言えば勢いをそがれた感じ、よく言えば勢いで突っ走らなくてすんだという感じがしています。

一方で、勤務を調整して研修に参加されていた方達は、スケジュールの変更によって、大変な思いをなさったのではないのでしょうか。

コロナ禍がなかったら、研修を途中で断念せずに済んだ方がいらしたのではないかと、つい考えてしまいます。私は、多くの方と共に学んだ時間を、今後役に立てていきたいです。

じっくりと時間をかけて研修できる希少な機会を与えられたことに感謝して、相談員としての第一歩を踏み出そうと思っています。



コロナ禍は (WE)

コロナ禍は相談者の日常生活に多大な影響を与えていますが、私の日常も通勤の緊張と不安の中、さまざまな職場でのコロナ対応に追われた2年でした。感染された方の恐怖、家に閉じこもることでの不安や疎外感、失職や生活不安の声を身近な人から聞く機会も多くありました。

相談者と相談員は共にパンデミック下を生活している同時代の人間であり、その不安や困難については共有していることに気がつきもしました。個々に抱える事情はそれぞれですが、同じ時を生活している「あなたと私」として、相談者の方とお話したいと思っています。



長引くコロナ禍において (FK)

長引くコロナ禍において、センターまで移動して電話を取る活動に抵抗がありました。自営業の仕事はほぼワンオペレーション（自分ひとり）なのでリスクを避けたかったのです。ちょうどそんな折、50周年委員会にお声掛けをいただき、広報WGの一員としてホームページリニューアルを担当する機会を頂きました。電話活動に関われない分、前職のIT業界での経験を活かし、いのちの電話に貢献したいと思いました。

これまでのホームページは堅実であるものの、どこか近寄りたがたい印象だったので、親しみやすく分かりやすいページになるよう工夫しました。打合せはすべてオンライン方式でした。なかなか意図通りに仕上がってこなくて、制作会社に何度も修正依頼を繰り返し、やっと出来上がったものです。ぜひ、多くみなさんにご利用いただきたいと思います。



コロナ禍で思うこと (KK)

私はコロナ禍以降、家族に基礎疾患を持つ者がおり、オンライン会議等を除き一切の活動に参加していません。家族を守る為やむをえないこととは言え、ただでさえ苦しんでいる人が更にコロナ禍で追いつめられる現状に忸怩たる思いで日々を過ごしています。

私は今ほとんど会社には出ていません。自宅で会社のノートパソコンを使ってオンライン会議や事務処理を行ったりしています。

そんな毎日の中で「相談活動もオンラインでできないのかな」と思っています。

私は、コロナ禍で活動できないでいる人たちが、SNSのような即時性の強いメディアを活用して、時間場所に縛られずに参加できる新しい形態の相談活動が必要と感じています。

●東京いのちの電話 後援会

『いのちの電話後援会』は『いのちの電話』が生まれた翌年、1972年11月に発足しました。『いのちの電話』の事業遂行に必要な財政的支援を行うと共に、支援者・支援団体の開拓を行い、チャリティー事業の実施を通して、その発展に寄与することを目的としています。

毎年バザーを始め、コンサート、映画会、講演会等、様々な事業を開催してきましたが、コロナ禍のこの2年間、いくつかのチャリティー事業を行うことができず『いのちの電話』への支援も難しい状況です。相談員を対象に物品販売を計画したところ、いつも支援して下さっている企業の方々から献品を頂きました。急遽中止した50周年記念コンサートでは、返金される予定のチケット代を大勢の方々が寄付ととしてくださいました。ありがとうございました。早くコロナ感染が終息し、今までのような活動ができるようにと願っています。

●HPリニューアルしました!!



いのちの電話の活動は
24時間休みなく続いています

- ・タイムリーな情報更新
- ・アクセスのしやすさ
- ・わかりやすいページ構成

を目指してリニューアルに取り組みました。

皆さんにとって使いやすいホームページとなるよう、常に改善していきたいと考えています。

●相談員募集しています!!

こころとこころをつなぐ「聴く」を
一緒に始めませんか

2022年度 いのちの電話(東京)
電話相談員

募集

あなたも、ぜひ、聴き手になってください

いのちの電話(東京)はボランティアによる
電話相談活動です
孤独、不安などを訴える方々からの電話を
年間約16,000件受けています
いのちの電話(東京)は、1971年以来、
365日24時間休みなく活動しています

相談員は養成講座(1年半)を受講したのち認定されます
募集期間：2022年2月1日～4月30日

くわしくは事務局までお問い合わせください。

ホームページ [いのちの電話](https://indt.jp) からダウンロードできます
HP: <https://indt.jp>

問い合わせ先 社会福祉法人いのちの電話(東京)事務局 月～金 13:00～17:00
TEL:03-3263-5794 FAX:03-3264-4949



表紙の作者 松元 竣資さん (お母様からの本人紹介)

知的障害のある23歳です。都内のB型作業所に通いながら、子供の頃から好きだった絵や書を描いています。どちらかと言えば、ものの形の特徴を捉えて、かわいいイラストを描くのが得意ですが、水彩画や墨彩画も描いています。この絵は、葉っぱに目と足をつけて虫に見立てた「葉っぱ虫」が絵に紛れ込んでいます。水彩で丁寧に色を塗りました。絵の中の虫を探してみてください。

*スペシャルオリンピックス日本・東京

スペシャルオリンピックスは、知的障害のある人たちに、さまざまなスポーツトレーニングとその成果の発表の場である競技会を、年間を通じ提供している国際的なスポーツ組織です。スペシャルオリンピックス日本・東京は、最大の地区組織として、16のスポーツプログラムと6つの文化プログラム、および地区大会と各種競技会を実施しています。

2021年度 社会福祉法人 いのちの電話 東京

発行人：末松 渉 TEL：03-3263-5794 (代) FAX：03-3264-4949 印刷：株式会社ユニックス

この広報誌は、赤い羽根共同募金からの配分金で作りました。